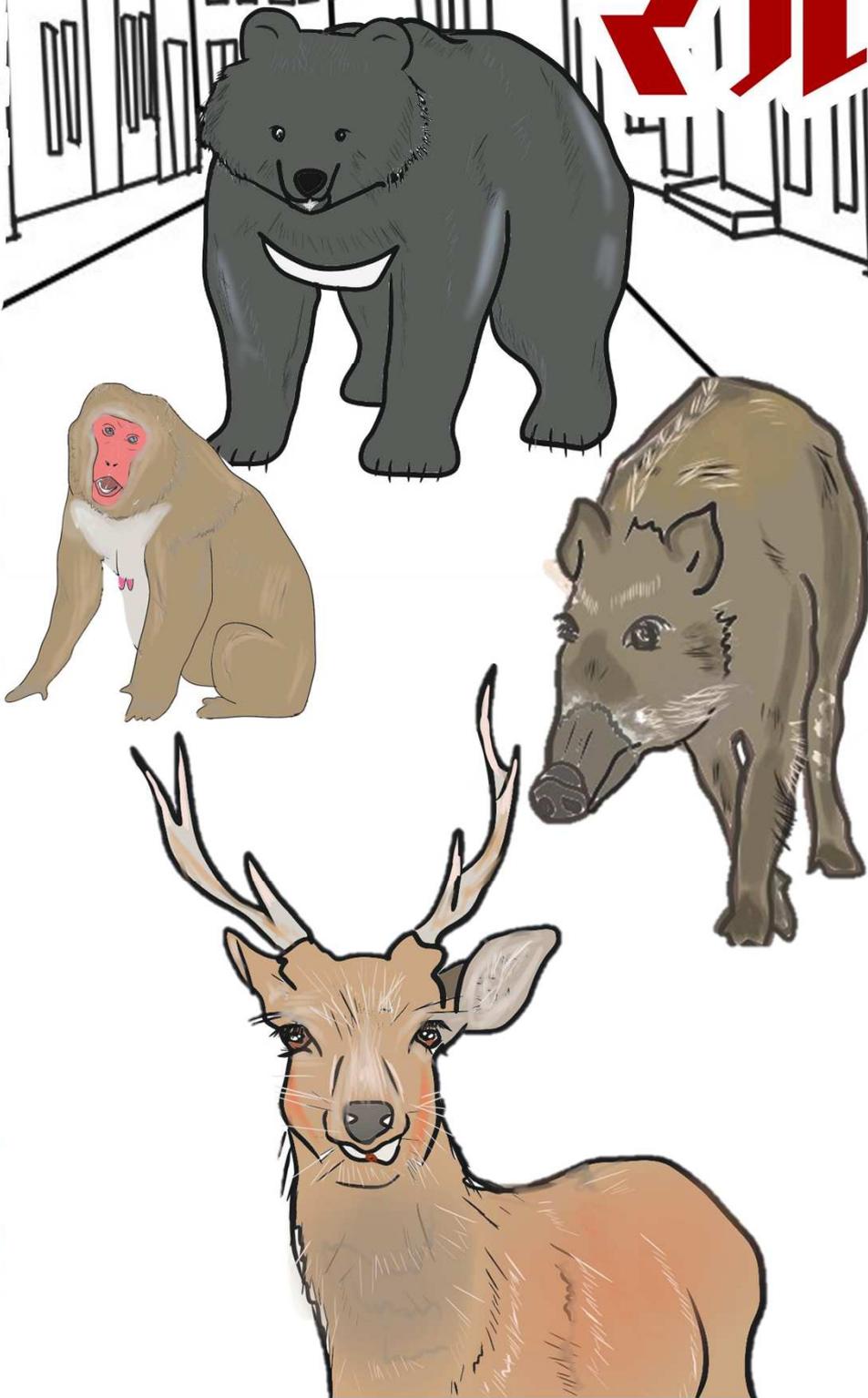


街下

ワザンイ
マルカノ
ニ

に出逢ったら

野生動物が街に出没した際、ケガをしないための対処法



街で野生動物たちに出逢ったら？



広島で暮らす皆さん、こんにちは。私たちは広島県内の山で暮らす野生動物です。私たちはこれまで、たまに田畑を荒らす事はあれど、ほぼ山の中だけで暮らしてきました。ところが最近、人が暮らす街まで出てくる仲間も増えてきたようです。そして残念ながら、人を驚かせたり、ケガをさせてしまう私たちの仲間もいるようです。このリーフレットは、もしもあなたの街で私たちに遭遇した際にどう対応したらよいかについて、知ってもらいたくて作りました。まずは出逢ったときにやると危険なことを動物種別にまとめたのでご紹介しましょう。

やってはいけないこと



1. 大声をあげる、棒をふりまわす



×

×

×

2. 石を投げる



×

×

3. 背中を見せて、急に走る



×

×

×

4. 移動経路(逃げ道)をふさぐ



×

×

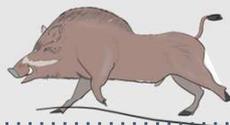
×

5. 出沒個体と目を合わせる



×

6. 不用意に出沒個体に近づく



×

×

×

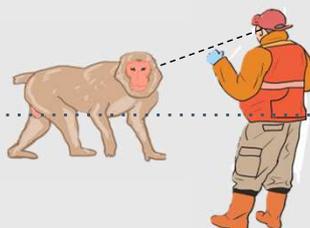
7. エサをあげる、撒く

×

×

×

8. 直近に出沒した場所へ近づく



×

×

9. 夜間・早朝・夕方に1人で出歩く

×

×

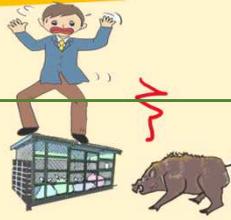
街で野生動物たちに出逢ったら？



ぜひやってほしいこと



1. ゆっくり後ずさりし、
高い場所あるいは家屋、車中に避難

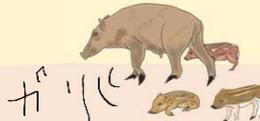


○

○
(目を見ない)

○

2. 至近距離で遭遇したら、
うつ伏せ姿勢で顔面・頭部・腹部を守る



○

3. 子連れ個体は警戒心・攻撃性が高いため、要注意



○

○

4. 不要不急の外出を控える



○

○

○

5. 児童は集団で登下校あるいは車で送迎



○

○

○

6. 戸締りをしっかりする



○

○

7. 複数人で飛び道具(電動ガン/花火/パチンコなど)を
使って追い払う



○

8. クマ鈴、ラジオを携行する



○

9. 咬まれたり、引っ搔かれたらすぐに病院へ



○

○

○

野生動物と街で出逢った時にやってほしいことをまとめました。

動物の種類で、街で出逢ったときの対応方法が少しずつ違います。

街で野生動物に急に出くわすととても驚くかもしれませんが、

冷静に安全な場所へ避難できるように、上記のことについてぜひ確認してみてくださいね。

また、街で野生動物に遭遇した際は、その後の重大事故を防ぐために、警察や役場への通報に

ご協力をお願いします(●●●●TEL●●●●-●●●)。通報時には①目撃した日時、②目撃した

場所、③目撃した動物の大きさや頭数、④被害の状況 についてお尋ねしています。



野生動物たちが街に出没する理由

野生動物たちが街に出没する理由について紹介します。

野生動物は、街に美味しい食べ物が簡単に食べられる環境が整っている時に出没します。街の中に収穫しないカキやクリ、柵で囲われていない田畑、放置された生ごみなどがあれば、そこは動物たちにとって高級レストランと同じです。一度人が作った美味しい食べ物を食べると、味を覚えて、繰り返し同じ場所へ訪れるようになり、次第に人にも慣れていき、人身事故発生への危険性が高まっていきます。

⚠️ 車両衝突

⚠️ 列車衝突

⚠️ 咬む

生ごみ放置

⚠️ 追いかける

⚠️ 押し倒し

⚠️ 引っ掻き

倉庫未施錠

追い払いわれず
人馴れ進行

不要果樹

野菜くず
放棄

柵未設置の
畑

防御ナシ
養魚場

隠れ家のヤブ

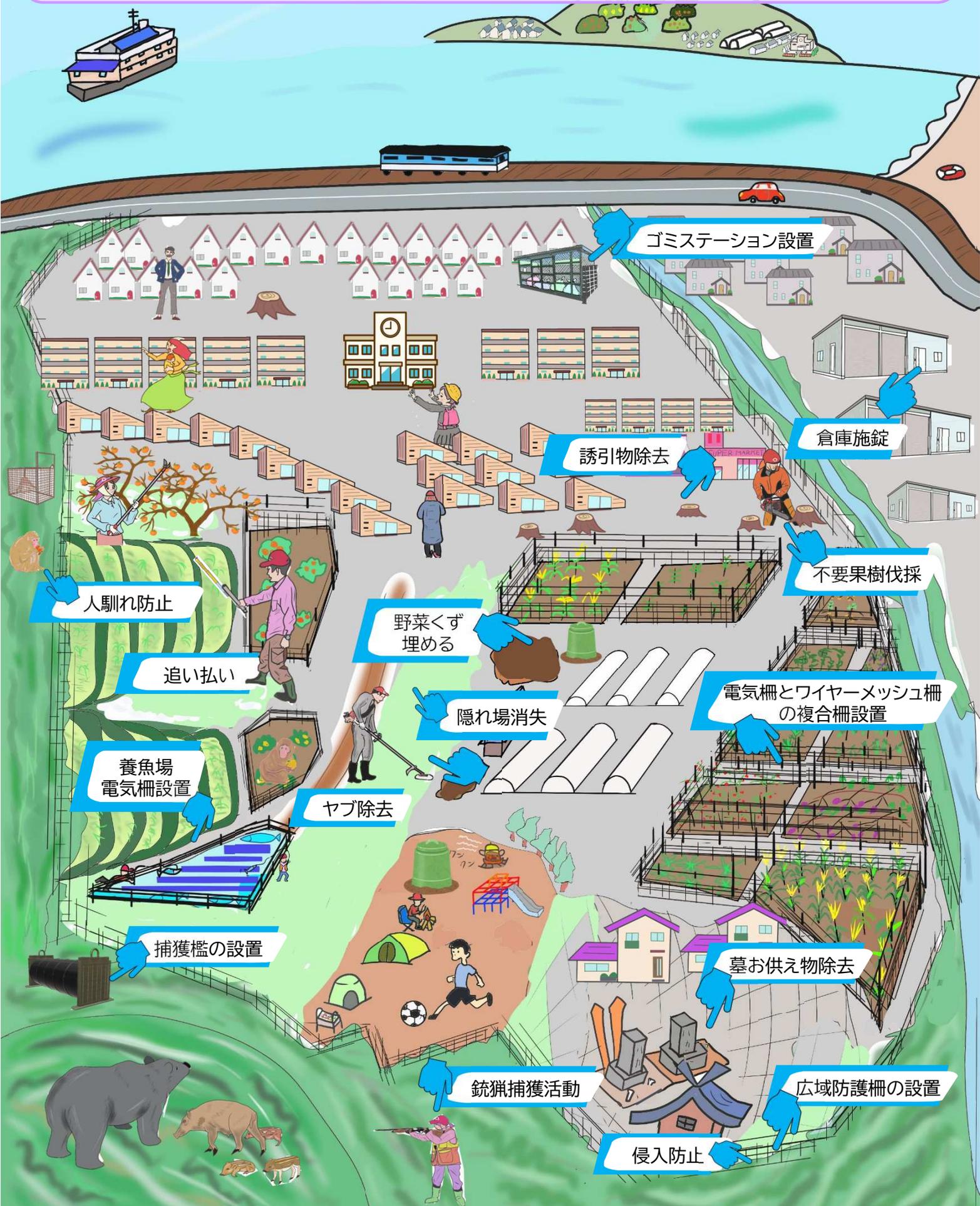
墓お供え物

私たちは、本当は臆病な性格で山の中で人に出逢った際に驚いて攻撃してしまうこともあります。街へ出て行った私たちの仲間は、大胆で人に慣れていきます。では、私たちを街へ出沒させないためにはどうしたら良いのでしょうか？

野生動物たちを街へ出没させないために

野生動物が街へ出没しづらい環境を再現してみました。

これからも、人と野生動物が安心安全に暮らしていくためには、街で人と私たちが出逢わないようにすることが大切です。そのための街づくりを皆さんでやってみませんか？



ゴミステーション設置

倉庫施錠

誘引物除去

不要果樹伐採

人馴れ防止

野菜くず埋める

追い払い

隠れ場消失

電気柵とワイヤーメッシュ柵の複合柵設置

養魚場電気柵設置

ヤブ除去

墓お供え物除去

捕獲檻の設置

銃猟捕獲活動

広域防護柵の設置

侵入防止



発行 令和6年(2024年)3月
広島県環境県民局自然環境課
編集 株式会社 野生動物保護管理事務所
デザイン 檀上 理沙